

請求の範囲

- [請求項1] 無機マルチフィラメント糸と熱可塑性樹脂糸とを合撚してなる複合糸をタテ糸又はヨコ糸の少なくとも一方に用いて製織してなる複合糸織物であって、
- 前記無機マルチフィラメント糸が10～65texの範囲の質量を備え、
- 前記無機マルチフィラメント糸を構成するモノフィラメントが6.6～9.5 μ mの範囲の繊維径を備え、
- 前記熱可塑性樹脂糸を構成する熱可塑性樹脂のメルトフローレートが、34～100g/10分の範囲であり、
- 前記複合糸の全質量に対する前記無機マルチフィラメント糸の質量の割合が40～90質量%の範囲であることを特徴とする複合糸織物。
- [請求項2] 請求項1記載の複合糸織物において、前記無機マルチフィラメント糸は、ガラス繊維糸であることを特徴とする複合糸織物。
- [請求項3] 請求項1又は2に記載の複合糸織物において、前記熱可塑性樹脂糸が、ポリアミド樹脂糸であることを特徴とする複合糸織物。
- [請求項4] 請求項1～3のいずれか1項に記載の1枚の前記複合糸織物、又は、複数枚の前記複合糸織物を積層した積層物を加熱加圧する成形工程を含むことを特徴とする、繊維強化樹脂成形品の製造方法。